

農家とお客様をつなぐ 新鮮な“伊達野菜”で

岡田 忍 (おかだ しのぶ)
 観光物産館農産物販売協議会
 (株)伊達観光物産公社 代表取締役

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しく-北海道」運動第8回コンクールで優秀賞を受賞した団体、「観光物産館農産物販売協議会」(株)伊達観光物産公社 代表取締役 岡田 忍さんにお話をお伺いしました。

《基幹産業の農業の活性化》

伊達市は、北海道の南西部に位置し、年間を通して温暖な気候のため、積雪量も少なく「北の湘南^{しょうなん}」と呼ばれています。

最初は、道の駅の小さな敷地の中に直売所がありましたが、販売する十分なスペースが確保できなかったため、売り上げも伸び悩んでいる状況でした。そこで、伊達市の基幹産業でもある農業を発展させて、地域活性化に貢献し、伊達特有の多種多様な農産物をお客様に提供したいという想いで、2012年4月現在地に観光物産館をリニューアルオープンしました。

そのオープンに向けて直売所に参加する市内の農家の方を募り、67名が集まって「観光物産館農産物販売協議会」を設立しました。現在、会員は81名になり、協議会のメンバーは役員11名、幹事2名の合計13名で活動しています。

主な取り組みは、定例会議の他、定期的に品質管理などの確認をして各農家の方全員に周知し、新鮮な農産物を提供できるようにしています。

また、新しい農産物に挑戦する農家の方へ補助制度「新作物導入奨励金」の支援も行っています。



リニューアルした物産館の外観



《季節ごとの新鮮でおいしい野菜》

販売している農産物は、年間を通して多種多様の品種の野菜を生産しています。露地栽培はもちろん、冬期間でも温暖な気候を利用したハウス栽培も盛んです。ハウス栽培ではビニールを二層三層にして温度を保ち、加温しないで作物を作る工夫をしています。このような農家の方の努力や研究により、冬野菜でも安定して供給することができ品数も充実していますので、伊達野菜は大変人気です。伊達野菜は季節ごとに多品種の農産物を提供できることが特徴の一つになります。

《物産館の直売所》

直売所では、農家の方とお客様がコミュニケーションを取れるようになり、今、お客様が何を求めているか知ることができ、さらに、リピーターとして来ていただいたお客様から良い評価を聞かせてもらえることが、農家の方にとって一番のやり甲斐にもなっています。その他に、珍しい農産物の料理教室などのイベントも年に2・3回行い、お客様の購買意欲のきっかけにつながる活動をしています。

また、新規就農の方の販売経路として、貴重で魅力的な場所にもなっています。

今後も農家の方へのサポートを行い、毎日新鮮でおいしい伊達野菜を提供できるように活動を続けていき、地域全体をもっと元気にしたいとお話ししてくださいました。



連日大盛況の農産物販売所

※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しく-北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。